

考えよう! 一般廃棄物 最終処分場

vol.
3

候補地の現地確認

昨年11月22日に第3回委員会を行いました。この日は、前回の委員会で絞り込んだ候補地3カ所の現地を回り、土地の傾斜や植生、支障物の有無、隣接地の状況、進入道路・排水放流先の整備、近隣道路からの見え方等について確認しました。

施設見学の内容確認

その後、8月に行った施設見学の結果について確認しました。

まず、埋立地を屋根で覆うクローズド型の留萌南部衛生組合処分場は、中間処理なしで直接埋立するためごみ量が多く、臭気などの課題があることが確認されました。

また、埋立地が解放されているオープン型の岩見沢市処分場は、ごみの中間処理（焼却と破砕選別）を

行って焼却灰と減容化されたごみを埋立するため、計画期間以上の使用が見込まれる一方、融雪や大雨で埋立地内に浸透した多量の水処理が必要になることなどが確認されました。

構造形式を絞り込む

続いて、最終処分場の構造形式を、オープン型とクローズド型のどちらにするか検討しました。

オープン型処分場は、既存施設と同じく、埋立地を土木工事で掘削し、遮水シートを敷詰めた構造です。また、埋立地内で発生する汚水処理のため、年間の降雨量から算出される汚水量に見合う規模の浸出水処理施設を設置します。

クローズド型と比較して利点は、施設内作業で換気や照明等の特別な設備は必要ないこと、屋根がないため工事費用も低く抑えられます。

クローズド型処分場は、埋立地の上に被覆施設（屋根）を設置した構造です。屋根で降雨を遮断し、廃棄物の安定化に必要な水分量を散水設備で供給するため、浸出水処理施設が小型になります。

オープン型と比較して利点は、屋根があることで、強風時のごみ・粉じんの飛散防止に効果があり、施設内作業で降雨・積雪等による影響を少なくできます。また、浸出水処理

施設が小規模なため、維持管理費が低く抑えられます。

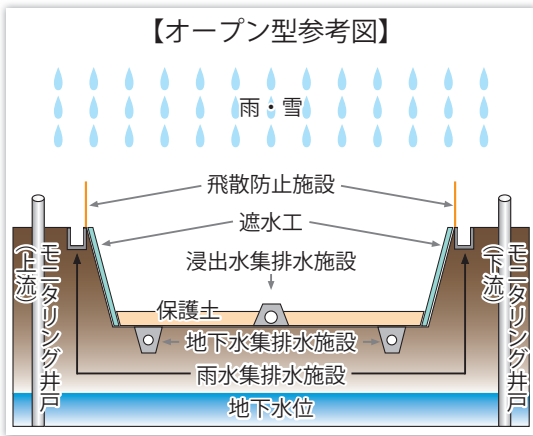
これらを検討した結果、工事に維持管理経費を加えたトータルコスト比較では構造による差がないこと、周辺環境への影響の少なさや埋立管理のしやすさを考慮し、クローズド型を採用することになりました。

なお、遠軽地区では、ごみの中間処理を行い、埋立ごみ量削減と、環境負荷の低減を図ることとしています。

候補地の評価項目を整理

最後に、次回委員会で行う候補地順位付けに向けて、評価項目を整理しました。

前回委員会で絞り込んだ候補地3カ所のいずれも基準を満たす項目



は除外し、新たな8項目の評価指標で議論を進めることになりました。

◆候補地選定の評価項目

- 「地形・地質等」「施設配置計画」
- 「放流先の利水状況」「運搬効率」
- 「雨水流域面積」「搬入道路の整備延長」「建設費」「維持管理費」

【次回の検討委員会

傍聴を希望される方は、事前にご連絡ください。

◆日程…2月26日(水) 14時～

◆場所…えんがるクリーンセンター
2階研修室

◎遠軽地区広域組合衛生施設課

☎0158・42・8325

◎町民課生活環境係

☎2・1213

